

# IT食農だより

発行元: 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

住所: 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL: 0532-44-6655 E-mail: info@recab.tut.ac.jp

2025年1月15日

No.98

## 東海地域の6次産業化推進人材育成 ビジネスプラン発表会

12月14日（土）、emCAMPASでビジネスプラン発表会を実施しました。昨年に続き、観覧希望を募集して公開発表会となりました。事前申し込みの観覧者、関係者等が見守る中、受講生はプログラムを通じて作成した事業計画をもとに、それぞれのプランを発表しました。

全員の発表終了後、審査の時間が設けられ、優秀賞、観覧者の投票で選ばれる特別賞が発表されました。

### 【最優秀賞】

田中里佳さん

プラン名:

「国産キャッサバを使用した商品開発」

### 【優秀賞】

渡辺 智さん

プラン名:

「粘り強い『自然薯』で、元気と笑顔をお届け！地域の恵みで、健康と笑顔を育む、新しい食と農のカタチ」

### 【オーディエンス特別賞】

杉浦 正泰さん

プラン名:

「地域活性化のプラットフォームとしての東三河の“地域食”専門食堂の事業化検討」

## 先進事例調査研修を実施

各プログラムにおいて、先進事例調査研修を実施しました。（10、12月）

【日にち】10月13日（日）

【対象】

- ・6次産業化推進人材育成プログラム13期生  
※必修科目
- ・事前申込の方（修了生など）

【訪問先】

6次産業化に取り組む企業等（愛知県）

(1) ㈱Gファーム（食肉加工）

(2) ㈱ジュン・グリーン〈たべりん王国〉  
（観光農園）

「㈱Gファーム」の鈴木美仁さんより、フード

ロスから豚にとって良質な栄養となる素材を徹底的に吟味し、イモ・麦・米類（酒粕など）をブレンドした「エコフィード」の開発例や、豚の排泄物から家庭の電気が生まれるバイオマス発電、適切に処理された有機肥料で育てる熱帯果樹や野菜などの栽培について説明がありました。また、「㈱ジュン・グリーン」富田雅則さんから、景観を損ね、安全性の脅威となる放置竹林を機械により伐採・破碎する事業についてご紹介いただき、イチゴ（冬期）やメロン（夏期）の観光農園を見学、ブルーベリーのジャムづくりを体験しました。



㈱Gファーム



㈱ジュン・グリーン

【日にち】12月7日（土）

【対象】

- ・最先端植物工場マネージャープログラム  
12期生
- ・IT食農先導士養成プログラム  
（最先端土地利用型IT農業コース）8期生
- ・6次産業化推進人材育成プログラム13期生  
※いずれも選択科目
- ・事前申込の方（修了生など）

【訪問先】

大規模経営、6次産業化に取り組む企業等  
（静岡県）

- (1) ㈱スマートアグリカルチャー磐田  
(パプリカの栽培状況等)
- (2) Yui support ㈱  
(イチゴの栽培状況等)

「㈱スマートアグリカルチャー磐田」では、村松正登さんより、オランダ式の温室や環境制御設備の紹介、それらを活用して生産性を高めた実績およびブランド化されたパプリカの商品例を説明いただきました。また「Yui support ㈱」の玉置麻菜美さんから、静岡県温暖な気候から生まれる豊富な農作物や自然の魅力を活かし、地域を担う子供達へそれらの魅力をつなげる、という会社設立の経緯や、キッチンカーを用いた農作物の直売、農場のイチゴ株をオーナーとして買い取るサービスなど多様な取り組みについて説明がありました。



㈱スマートアグリカルチャー磐田



Yui support ㈱

- 【日にち】12月21日 (土)
- 【対象】12月7日実施と同じ
- 【訪問先】

- 有機農業に取り組む企業等 (愛知県)
- (1) (公財) 功農支援会  
(有機栽培の栽培状況等)
- (2) 福津農園 (自然農法等)

「(公財) 功農支援会」では、農場長の山口 健さんより、2024年10月に有機JAS認証を取得したミニトマトをはじめとした農場の栽培事例、研修プログラムの紹介および研修生と情報交換の機会をいただきました。また「福津農園」代表の松沢政満さんから、植物をマルチとして活用 (リビングマルチ) し、夏期に播種した種子

の発芽を安定化する手法をはじめとした、植物の生態系を活かした少量多品目生産についてお話があり、圃場をご案内いただきました。



(公財) 功農支援会



福津農園

## クリスマス スワッグづくりを行いました

当センターでは、豊橋市の補助事業として、農業や植物に関連した市民講座を実施しています。例年12月には、講師をお招きしてクリスマス用のフラワーアレンジを行っており、今回はスワッグを作成しました。最初は慣れない手つきだった参加者も、講師、スタッフのアドバイスを受け、最後には個性豊かなスワッグが完成しました。(12月8日 (日) 実施)



## IT農業ネットワーク交流シンポジウムを開催します

当センターが実施する人材育成事業の修了生でつくるIT農業ネットワークでは、毎年交流シンポジウムを実施しています。詳細は、順次Webサイト等でお知らせします。ぜひご参加ください。

- 【日にち】3月1日 (土)
- 【場所】emCAMPUS
- 【メインテーマ】  
「持続的農業へのへの挑戦 (儲かる有機農業とは!!)」